

| | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------------|-------|------|-----|--------------------------|-----|
| 科目コード | R24108 | 科目名 | 比較文化論 | | | | |
| 履修区分 | 選択 | 開講期 | 1年後期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 2単位 |
| 担当者 | 古井戸 祐樹 | | | | | | |
| 授業の概要 | 人々の交流が盛んになると共に、物や情報の交流も活発となり、人種・民族・言語・文化的背景が異なる人々が共に社会生活を営んでいる中で、様々な異なる文化的背景について学修し、相互交流を深め共生していくために必要な知識を学修する。人類の形質・文化・社会の多様性と普遍性など様々な側面から異文化の存在と身体観・病気観・死生観などについて学修する。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている | | | | | | |
| | 生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている | | | | | | |
| | 地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている | | | | | | |
| 2025年度以降の学則適用者のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力 | | | | | | | |
| 到達目標 | 民族・言語・文化的背景を異にする世界の人々の社会生活を概観し、それらの異同を理解し、異文化間の相互交流や多文化共生のために必要な知識と能力を修得する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | 必要な資料は適宜配付する。出欠は、c-learningでのリアクションペーパーの提出で出欠とします。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | | 事前・事後学修 | |
| | 1 | オリエンテーション 文化とは何か【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 2 | 文化相対主義と異文化理解について【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 3 | 世界の食事と生活習慣：気候や地域性を踏まえて 【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 4 | 世界の食事と生活習慣：気候や地域性を踏まえて 【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 5 | 世界の宗教と世界観について【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 6 | 世界の死生観について：宗教的理解から。【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 7 | 言語と文化の関係について【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 8 | 世界の服装について【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 9 | 芸術・ポップカルチャーから見た文化形成【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 10 | 世界の教育事情（アメリカ・ドイツ・フランス・日本を例に）【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 11 | 移民と多文化社会の課題【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 12 | 日本の文化の相対化：広島県と他県を例にして【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 13 | ユネスコと世界遺産から文化を考える。【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 14 | 世界の代表的なお祭りについて【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| | 15 | 全体のまとめ【古井戸祐樹】 | | | | 予習と復習を行い各自でノートをまとめておくこと。 | |
| 成績評価方法 | 授業で提示する小課題30% 期末レポートによる70% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者（出版社） | | | | | ISBNコード | |
| | 使用しない | | | | | | |
| 参考書 | サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』集英社 | | | | | 978-4-08-760737-6 | |
| | | | | | | | |
| 教員からのメッセージ | 授業で配布する資料をよく読んでおいてください。授業中に課題を出すことがあります。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | c-learningから相談をお願いします。 | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | | | | | | | |